

事務事業名	コード	26800 中小企業金融対策事業	予算科目	会計	款	項	目	所管課	商工観光課	担当班	商業振興班
基本施策	2	商工業の振興	根拠法令	一般	7	1	2	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	<input type="checkbox"/> 新市建設計画
施策の展開	4	商業の振興	戦略事業	28	中小企業融資と利子補給			<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	<input type="checkbox"/> 主要事業		
施策の展開			戦略事業								

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・市内中小企業者に対し経営の合理化等を図るため、取扱金融機関へ原資を預託し、その10倍を限度額として市内の中小企業者へ事業費等の融資を行う。 ・融資を受けられる限度額 事業資金(運転資金) 1,000万円、事業資金(設備資金) 2,000万円 小規模事業資金(運転資金、設備資金ともに) 500万円 ・平成28年度融資利率 1年以内 2.20%、1年超～3年以内 2.55%、3年超～5年以内 2.75%、5年超～10年以内 2.95%	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
・市内中小企業者の資金調達を円滑にし、健全なる経営発展を図るため開始	・東日本大震災や長引く景気の低迷を受け、中小企業者を取り巻く環境はますます厳しいものとなっている。	・金融機関から預託金増額と1件あたりの融資上限額の拡大の要望がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円		25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 中小企業金融対策資金預託金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
2. 補償金	0	0	261	0	10	10
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円						
1. 国庫支出金	0					
2. 都道府県支出金	0					
3. 地方債	0					
4. その他	100,000					

事業費	1. 中小企業金融対策資金預託金	千円	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	2. 補償金	千円	0	0	261	0	10
	事業費計(A)	千円	100,000	100,000	100,261	100,000	100,010
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	5. 一般財源	千円	0	0	261	0	10

前年度増減理由 今年度は代位弁済が発生しなかったため。

従事職員数 常時 1人 最大 人 × 日 = 延べ 0人

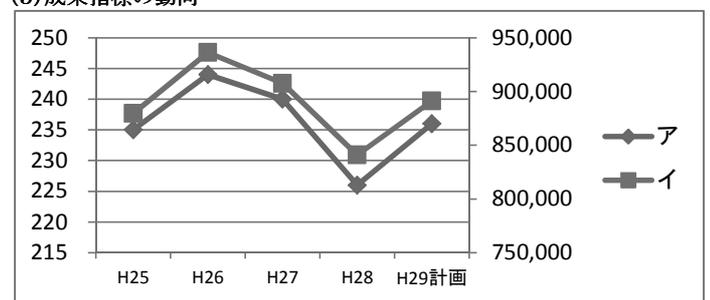
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・取扱金融機関へ原資を預託し、その10倍を限度額として市内の中小企業者へ事業費等の融資を行った。 【平成28年度末融資件数】226件 【平成28年度末融資残高】841,031千円		ア 新規融資件数	件	48	56	51	46	55
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 市内の中小企業者 意図 円滑な資金調達により、健全な経営発展が図られる。 対象意図		ア 年度末融資件数	件	235	244	240	226	236
			イ 年度末融資総額	千円	879,428	936,382	907,604	841,031	891,066

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率		
	普通	かなりある	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	小さい	ある程度ある	①	②	③
		ほとんどない	④⑤	⑥	⑦⑧
		②	⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難				
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較
【コメント】 (低下の場合、その理由)		のタイプ	数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29計画
					ア 1 9 Δ4 Δ14 10 イ Δ406 56,954 Δ28,778 Δ66,573 50,035
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性
	H29年7月～	道の駅にパンフレットを配置			<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()
					通年 例年通り